

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 植物病原菌寄生成立機構の解明と圃場での応用
2. 研究代表者： 浅井 秀太（理化学研究所 環境資源科学研究センター 上級研究員）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

土壌伝搬性の植物病原菌（フザリウム）の寄生成立機構を解明し、病害発生予測モデルの構築を目指す挑戦的な課題である。

フェーズ1では、国内で手に入るフザリウム450菌株のうち、90近いフザリウム菌株のゲノムを決定し病原性に関わる因子を特定したことは評価できる。フェーズ2は、宿主特異性の決定機構を解明し、圃場にて検証して病害発生予測モデルの構築を目指すという挑戦的な計画となっており期待できる。

以上